

Press Release(H28/8/3)

“岐阜県への移住定住を考える” 第4回「ぎふフューチャーセンター」を開催します

岐阜大学は、県内自治体（岐阜県、岐阜市、高山市、郡上市）と連携して進める「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」※の一環として、地域の課題を探りその解決策を考えるための対話の場である「フューチャーセンター」を、毎月1回程度開催しています。

第4回ぎふフューチャーセンターは、岐阜県と共同開催し、「移住定住」をテーマに、岐阜県へより多くの方に移住定住してもらうための方策について学生（岐阜大学、岐阜経済大学、岐阜県立森林文化アカデミー）、地域の方、自治体職員が意見交換を行います。

つきましては、下記のとおり開催しますので、取材方よろしくお願いたします。

【 第4回ぎふフューチャーセンター 】 ※詳細は、別添のチラシをご覧ください。

日 時：平成28年8月8日（月）13：30～16：00

場 所：岐阜大学サテライトキャンパス

岐阜市吉野町6丁目31番地 岐阜スカイウイング37 東棟4階

テーマ：「岐阜県への移住定住を考える」

参加者：約30名 内訳：岐阜大学学生、岐阜経済大学学生、岐阜県立森林文化アカデミー学生、地域おこし協力隊隊員※、自治体職員

主 催：国立大学法人岐阜大学、岐阜県

<参考>

※岐阜大学の「地（知）の拠点整備事業（大学COC（Center Of Community）事業）」

岐阜大学が県内自治体等と連携し、「地域にとけこむ大学」を目指して行う教育・研究事業。

事業名称 ぎふ清流の国、地×知の拠点創成：地域にとけこむ大学

目 標 地域の諸問題に取り組み、地域社会において存在感のある大学として、地域社会の活性化に貢献する

3つの柱 ①教 育：地域にとけこみ活躍する人材の育成（次世代地域リーダー育成プログラムの展開）

②社会貢献：自治体や地域住民、大学などがともに地域課題について対話する場（フューチャーセンター）の設置

③研 究：地域を志向する研究の推進

※地域おこし協力隊

都市地域から過疎地域等に住民票・生活の拠点を移した者を、地方自治体が「地域おこし協力隊」として委嘱。隊員は、一定期間その地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の支援、農林水産業への従事、住民の生活支援などの地域協力活動を行いながら、地域への定住・定着を図っていく取り組み。

【問い合わせ先】

岐阜大学地域協学センター（担当 大宮・松原）

電 話：058-293-3877